

医療経済学会のスコープ(2019/12/24)

医療経済学会で扱う研究領域を以下に示す。将来の発展に向けて柔軟に対応する。

1. 健康の要因
 - 1A. 健康の把握と測定
健康・健康状態・生活の質の測定、効用の測定
 - 1B. 健康の要因とその制御
健康の経済的・社会的要因 (Social Determinants of Health)、社会・経済への健康の影響
健康関連行動の要因とその変容、ナッジを含む行動経済学の活用、リスク選好、時間選好
 - 1C. 健康と医療
健康と医療、健康の生産関数、医療の生産関数、医療の経済学的特殊性
2. 医療の需要
 - 2A. 医療の需要
医療需要(とニーズの)の把握、人口構造と医療需要、将来予測
 - 2B. 受療に関する行動
受療行動の把握、受療の機会費用、自己負担額の影響、価格弾力性、所得弾力性
3. 医療の供給
 - 3A. 医療の供給
医療の技術、薬剤、機器、設備、施設 (等の供給)、組織の行動・意思決定、供給量の把握と将来予測
 - 3B. 医療と介護の人的資源
専門的な人的資源の確保、地域分布、働き方、医療と介護の労働経済学
4. 医療に関わる組織と産業
 - 4A. 医療における組織
組織の構造と運営、組織の人々と行動
 - 4B. 産業組織論、制度論
規制、競争政策、産業政策(製薬、医療機器含む)、制度の発展過程、ゲーム理論
5. 医療の財源と資金の流れ
 - 5A. 医療に関わる財政、保険制度、社会保障
財政、医療保険制度、介護保険制度、社会保障政策、医療費政策
 - 5B. 医療の支払制度
診療報酬制度、介護報酬制度、薬価制度、価格決定方式
 - 5C. 医療の経済評価
費用効果分析、費用効用分析、費用便益分析、原価分析、ヘルステクノロジーアセスメント(HTA)
6. 医療の政策・システム
 - 6A. 医療提供体制
医療の提供体制、資源配備、連携、需給バランス、必要な医療へのアクセス、待ち行列
 - 6B. 医療に関わる政策やプログラムの影響の評価
政策評価、プログラム評価、準実験的研究、社会実験
 - 6C. 医療システムの評価と計画
資源の分布・配分、計画、予算、市場・準市場の分析、パフォーマンスの評価、地域間・グループ間比較、政策・制度の国際比較
7. さらなる学際的・領域横断的な領域や新しい領域
 - 7A. 学際的・領域横断的ならびに国際的な研究
上記研究に係わるデータサイエンス、生命科学、工学、情報学、心理学、社会学、人口学、公共政策学、政治学、法学、倫理学、経営学、福祉学ほか、それらの融合領域や新領域。データベース等研究基盤の整備。国際的およびグローバルな共同・研究など、国際的な研究領域。

※上記の「医療」は広義に「介護」や「健康・保健」を含む。また、細項目は例示であり、これらに限定するものではない。